

ドレミファ器楽

フル・スコア

SK-71 バッハ「第2組曲」より ポロネーズ・メヌエット・バディネリー

山下国俊 編曲

バッハは4つの管弦楽組曲を書いているが、今日よく演奏されるのは第2番、第3番で、特に第2番の人气が圧倒的である。これは俗に「フルーツ組曲」とも呼ばれており、その美しい旋律を以て有名である。「管弦楽」と言っても今日のオーケストラとは大分異り、第2番はフルートと弦楽四部という編成である。曲の構成は、序曲と6つの小さな舞曲から出来ているが、ここでは、特に親しまれている後半の3曲、ポロネーズ、メヌエット、バディネリーを、器楽合奏用に編曲してある。

- ① ポロネーズ(ポーランドを発祥国とする舞曲)
北歐的旋律を有する美しい曲です。 $\frac{3}{4}$ 拍子で書かれていますが、実際には8分音符を1拍とする感じで演奏すると旨くいきます。アルト、テナー、バスの各アコーディオンと、ピアノの低音部は、8分音符全てにアクセントをつける積りで演奏して下さい。⑧からはリコーダーソロの華やかな部分。鉄琴の独奏も可能となっています。
- ② メヌエット(フランス風の上品な舞曲)
演奏技術の最も容易な曲です。音色の美しさと、優雅さを念頭に於て臨んで下さい。
- ③ バディネリー(踊る、或いは冗談などの意。曲趣はスケルツォに似る)
細かい音符が多く、困難さを予想させますが、適当に役割りを分担できるようになっています。見た目ほど難しくないでしょう。さらに太鼓類はテンポが速い為、強くなりがちです。飽くまで軽快に演奏することを忘れずに……。

アコーディオン、鍵盤ハーモニカ、及び木琴、鉄琴に於て和音が書かれてある箇所は、和音弾きをせず、各々が一つずつ音を弾き、和音をつくって下さい。

 ミュージックエイト

Moderato ホロネーズ

フルート
(無くても
演奏可能)

ソプラノ
リコーダー

鍵盤
ハーモニカ

ソプラノ
アコーディオン

アルト
アコーディオン

テナー
アコーディオン
(オクターブ
上に記譜)

バス
アコーディオン

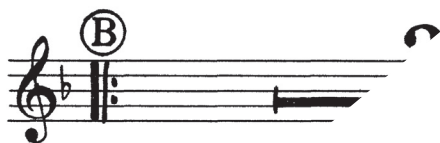
木

ピアノ

バッハ「第2組曲」より ポロネーズ

鍵盤ハーモニカ

Moderato



ット

